



グリーフケア 悲しみに寄り添える人を育てる

開催日時 2025年 **3月23日** (日)
13:00~14:30

会場 **四国カトリック会館**
香川県高松市桜町1丁目8-9
(カトリック桜町教会 横)

講師 上智大学グリーフケア研究所 所長
カトリックイエズス会 司祭
上智大学神学部 名誉教授

山岡 三治



13:00~14:00 山岡神父基調講演

「グリーフ(悲嘆)」は人生の旅路のなかでだれでもが経験するもので、その主なものは喪失体験です。思いがけない事故や病気によって身近な人を亡くすことはその顕著な例ですが、他にもたくさんの喪失があります。いまこの時点でもそのさなかで悲嘆に苦しんでいる方々がどんなに多いことでしょうか。私たちはなんとか彼らに寄り添い、少しでも悲嘆を軽減させてあげたいと願うのですが、さて、どのようにすることがふさわしいのでしょうか。安易な慰めや忠告は、逆に本人に二重の苦しみを与えてしまいます。

真摯に寄り添うためには、人間についてよりよく知り、自分自身が人生経験を積む必要があります。古来、多くの宗教や思想家が人生について語っていますが、それらを学びながら、自分なりにグリーフの理解を深め、よりよいケア者になり、社会全体にケアの文化が育つことを願っています。上智大学グリーフケア研究所はそのような同じ志をもつ人たちが一緒に研鑽を積む機会を用意しています。今回はその一端を紹介できれば幸いです。

14:00~14:30 パネルディスカッション

登壇者: 山岡三治(上智大学グリーフケア研究所 所長)、松浦信行(四国カトリック会館 館長)
杉山洋子(グリーフワークかがわ理事、認定グリーフカウンセラー)

身近にある悲嘆に対して何ができるか。認定NPO法人グリーフワークかがわ、桜町教会の取組や過去の事例を通して、参加者と共に地域の未来ビジョンを探究します。

申込不要・受講料無料
お問い合わせ

電話 **087-831-6659**

開室時間 平日9:00~17:00

【アクセス情報】

「JR 栗林駅」から徒歩4分、「ことでん栗林公園駅」から徒歩3分
高速バス・空港リムジンバス「栗林公園前バス停」から徒歩10分

できるだけ公共交通機関をご利用ください。
教会駐車場は使用できませんので、お車でお越しの場合
近隣有料パーキングのご利用をお願いします。

協働: カトリック大阪高松大司教区四国カトリック会館
上智大学グリーフケア研究所、上智大学大阪サテライトキャンパス

